

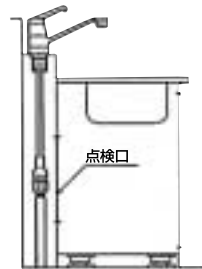
「メタルタッチ接続式混合水栓」施工のポイントのお知らせ



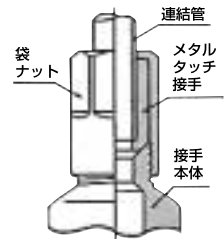
施工のポイント

流し台の裏側に給水・給湯配管する施工の場合、水栓金具の接続部が確認しにくく、経年変化による配管の抜けや漏水が発見しにくいいため、給水・給湯部をメタルタッチ式にし、保持力や固定力を大幅にアップした「メタルタッチ接続式混合水栓」をご用意しています。その施工のポイントをお知らせします。

取合図



メタルタッチ部拡大図



メタルタッチ接続式製品番号	
タイプ	品番
シングルレバー	TKF31UDX
	TKF31UDKX
	TKJ31UDRX
	TKJ31UDRKX
連結金具	TN51DX
	TN60DX

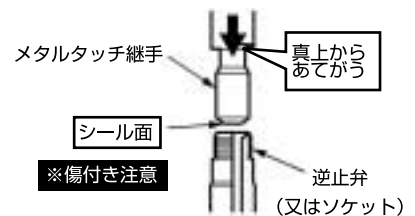
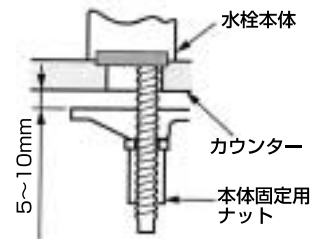
*台付タイプシングルレバー、2ハンドル混合栓には、連結金具を用意。

ポイント1

<接続時にシール面に傷をつけない>

継手シール面は、金属同志の接続（パッキンなし）となるため、傷が付かないように接続します。

- ① メタルタッチ継手接続の前準備として、本体固定用ナットを5～10mm緩めて、水栓本体が上に動くようにします。
※樹脂管など動く配管の場合は、水栓本体を緩める必要はありません。
- ② メタルタッチ継手の接続は、水栓本体を少し上に押し上げ（樹脂管の場合は管を下に押し下げ）、**真上から逆止弁（又は、ソケット）のシール面に確実にあてがいます。**



ポイント2

<締め付けを確実に行う>

メタルタッチ継手のシール面が確実に当たるまで手締めを行った後、さらに**工具で45°以上締め付けます。**

※締め付トルクは、20～25N・m (200～250kgf・cm) を推奨します。締め付けが不足すると、水漏れの恐れがあります。

*水栓本体は、最後に締め付け工具で固定します。

手でしっかり、確実に締め、さらに工具で45°以上回して確実に締め込む。

